

CentreCOM®
AR230E

取扱説明書・簡単編

©2002 アライドテレシス株式会社

目次

はじめに.....	4
1 製品概要.....	5
2 コンピューターの設定.....	6
3 機器の接続.....	10
4 本製品の設定.....	12
5 コンピューターの起動.....	14
6 接続の確認.....	14
付録.....	15

安全のために



必ずお守りください

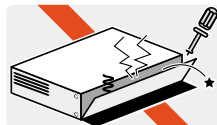


警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない

本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。



分解禁止

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない

感電の原因となります。



雷のときはさわらない

異物はいれない 水は禁物

火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



異物厳禁

通風口はふさがらない

内部に熱がこもり、火災の原因となります。



ふさがらない

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気のある場所には置かない

火災や感電の原因となります。



設置場所注意

交流100Vの電源でお使いください。

異なる電源電圧で使用すると火災や感電の原因となります。



電圧注意

電源ケーブルを傷つけない

火災や感電の原因となります。

電源ケーブルやプラグの取扱上の注意：

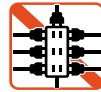
- ・加工しない、傷つけない。
- ・重いものを載せない。
- ・暖房器具に近づけない、加熱しない。
- ・電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。



傷つけない

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない

たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。



たこ足禁止

設置・移動のときは電源プラグを抜く

感電の原因となります。



プラグを
抜く

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください。

- ・直射日光の当たる場所
- ・暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
- ・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所（湿度80%以下の環境でご使用ください）
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
- ・腐食性ガスの発生する場所



静電気注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。
部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクターの接点部分、ポート、
部品などに素手で触れないで下さい。



取り扱いにはていねいに

落としたり、ぶつかけたり、強いショックを与えないでください。



お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で

誤動作の原因になります。



機器は、乾いた柔らかい布で拭く

汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませ、強く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。



ぬらすな



中性洗剤
使用



強く絞る

お手入れには次のものは使わないでください

石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん
（化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください。）



シンナー
類不可

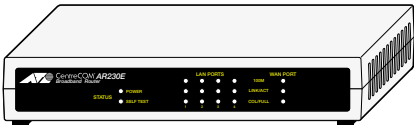
はじめに

この度は、「CentreCOM AR230E」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。この取扱説明書は本製品を正しくご使用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただくために、大切に保管していただきますようお願いいたします。

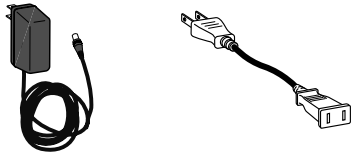
■内容物をご確認ください

本製品パッケージの内容は、下記の通りです（下記以外に添付紙が同梱されている場合があります）。お買い上げ商品についてご確認いただき、万一不足するものがございましたらお手数ですが、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

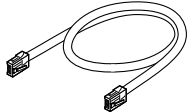
- ・ CentreCOM AR230E 本体



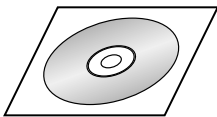
- ・ 専用ACアダプター
- ・ 延長用電源ケーブル



- ・ UTPケーブル 1m (1本) カテゴリー5・ストレート



- ・ 付属CD-ROM (1枚)



収録内容 取扱説明書・簡単編 (PDF形式ファイル)
 取扱説明書・詳細編 (PDF形式ファイル)
 Acrobat Reader ver.5.0.5 (Windows版・Macintosh版)

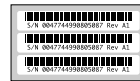
- ・ 取扱説明書・簡単編 (本書)



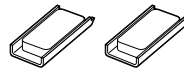
- ・ お客様インフォメーション登録カード
- ・ 製品保証書



- ・ シリアル番号シール (3枚)



- ・ ゴム足 (粘着タイプ 4個: 本体取付済み)
- ・ マグネット (2個)



- ・ ウォールマウント用タッピングスクリュー (2個)

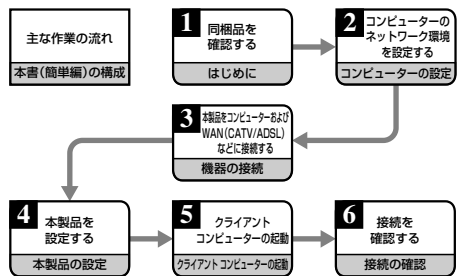


- ・ ウォールマウント用プラスチックアンカー (2個)



■取扱説明書について

本製品の取扱説明書は、簡単編 (本書) と詳細編 (付属CD-ROM内にPDF形式ファイルとして収録) の2編に分かれています。簡単編では、本製品の設置方法と簡単設定による設定方法について説明しています。本設定で動作しない場合、または他の機能をご使用になる場合には、詳細編 (付属CD-ROM内に収録) をご覧ください。



- ・ 本製品で使用可能な機能については「付録A. 製品仕様」の「Webブラウザによる設定項目一覧」15ページを参照してください。
- ・ 付属CD-ROMの使い方については、「付録B. 付属CD-ROMの使いかた」17ページを参照してください。

1 製品概要

本製品は、FTTHやADSL、CATVで提供される高速インターネットアクセス環境に対応したブロードバンドアクセスルーターです。10BASE-T/100BASE-TXの自動認識ポートを4ポート装備したファーストイーサネットスイッチとしてもご利用いただけます。

- ONU（回線終端装置）やケーブル（CATV）モデム/ADSLモデムに接続し、LAN上の複数のコンピューターからインターネットに接続することが可能
- 1つのIPアドレスで、253台のクライアントが接続可能
- 4ポートの10Mbps/100Mbpsイーサネットスイッチを内蔵
- 1つの接続を複数のコンピューターで使用できるNAT/ENAT機能
- インターネットからの不正アクセスを防止するFirewall機能（パケットフィルタリング/ステートフル・インスペクション）
- Webブラウザによる簡単設定
- DHCPサーバー/クライアント機能
- PPPoEに対応

1.1 各部の名称と機能

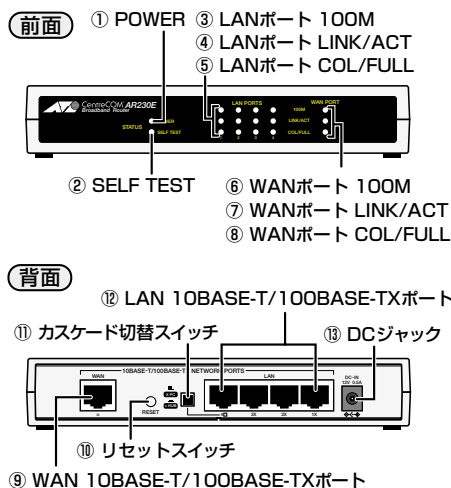


図 1.1-1

① POWER（緑）

本体に電源が供給されているときに点灯します。電源アダプターが正しく接続されていないか、指定した電源・電圧が使用されていないときは消灯します。

② SELF TEST（橙）

システム初期化時のセルフテスト中に点灯します。セルフテストが終了すると、消灯します。ファームウェア更新中に点滅します。

③ LANポート 100M（緑）／⑥ WANポート 100M（緑）

ポートが100Mbpsで動作しているときに点灯します。消灯している場合は、10Mbpsで動作していることを示します。10Mbps/100Mbpsの切り換えは、オートネゴシエーション機能によって、本製品が自動的にを行います。ユーザーが設定する必要はありません。

④ LANポート LINK/ACT（緑）

本製品のポートと接続装置とのリンクが確立し、相互に通信が可能な状態にあるときに点灯します。また、パケットの送受信が正常に行われているときに点滅します。

ポートがリンクしていないときは消灯します。

⑤ LANポート COL/FULL（緑）／⑧ WANポート COL/FULL（緑）

ポートがFull duplexで動作しているときに点灯します。消灯している場合は、Half duplexで動作していることを示します。また、コリジョンが発生している時に点滅します。

⑦ WANポート LINK/ACT（緑）

本製品のWANポートとONUやケーブル/ADSLモデムとのリンクが確立し、相互に通信が可能な状態にあるときに点灯します。また、パケットの送受信が正常に行われているときに点滅します。

ポートがリンクしていないときは消灯します。

⑨ WANポート（10BASE-T/100BASE-TX）

本製品とONUやケーブル/ADSLモデム、または既存のネットワークとを接続するためのポート（RJ-45）です。（MDI仕様）

⑫ リセットスイッチ

本製品がなんらかの原因で動作不能になった場合に、再起動させることが出来ます。凹んだ位置にあるので、先の細いもので押してください。

また、5秒以上押し続けることにより、工場出荷時の設定に戻すことも出来ます。

⑪ カスケード切替スイッチ

ポート4をカスケード接続用ポートとして使用するか、通常の10BASE-T/100BASE-TXポートとして使用するかを設定するためのスイッチです。

出荷時設定は「PC」です。

= HUB ■（スイッチが押し込まれている状態）

カスケード接続するときのカスケード接続用ポート（MDI）として使用します。

× PC ■（スイッチが飛び出している状態）

通常の10BASE-T/100BASE-TXポート（MDI-X）として使用します。

⑫ LANポート（10BASE-T/100BASE-TX）

10BASE-T/100BASE-TXのUTPケーブルを接続するためのスイッチ機能を持ったポート（RJ-45）です。

ポート4は、カスケード切替スイッチによって、カスケード接続用ポートとして使用するか、通常の10BASE-T/100BASE-TXポートとして使用するかを設定することができます。

⑬ DCジャック

ACアダプターのDCプラグを接続するためのコネクタです。

2 コンピューターの設定

本製品を利用したインターネット接続ができるように、お使いのコンピューターのネットワーク (TCP/IP) 設定を行います。ネットワーク設定は接続するすべてのコンピューターで行う必要があります。

また、あらかじめネットワークカードの設定がされている必要があります。

この設定により、AR230E との接続も可能になります。

2.1 Windows 編

■ Windows XP の設定

- (1) 「コントロールパネル (クラシック表示)」の「ネットワーク接続」を開き、「ローカルエリア接続」をダブルクリックします。



図 2.1-1

- (2) 「ローカル エリア接続の状態」ダイアログボックスで「プロパティ」をクリックします。



図 2.1-2

- (3) 「ローカル エリア接続のプロパティ」ダイアログボックスのリストの中から「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択し、「プロパティ」をクリックします。



図 2.1-3

- (4) 「インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ」ダイアログボックスで「IP アドレスを自動的に取得する」と「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択し、「詳細設定」をクリックします。

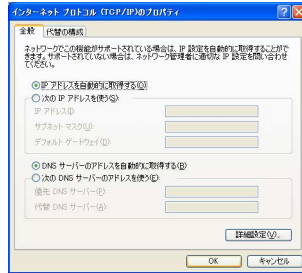


図 2.1-4

- (5) 「TCP/IP 詳細設定」ダイアログボックスで「DNS」タブを選択し、下部の「この接続アドレスを DNS に登録する」のチェックを外してください。

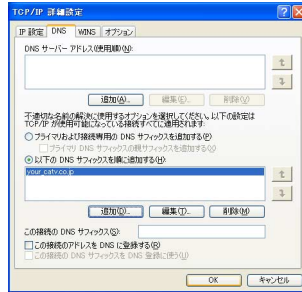



図 2.1-5

 **プロバイダーからドメイン名も指定されている場合**
「以下の DNS サフィックスを順に追加する」を選択し、「追加」ボタンを押して指定されたドメイン名を入力してください。

- (6) 「OK」をクリックしてダイアログボックスを閉じ、コンピューターを再起動してください。

■ Windows 2000 の設定

- (1) 「コントロールパネル」の「ネットワークとダイヤルアップ接続」を開き、「ローカルエリア接続」をダブルクリックします。

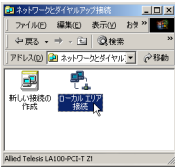


図 2.1-6

- (2) 「ローカルエリア接続状態」ダイアログボックスで「プロパティ」をクリックします。

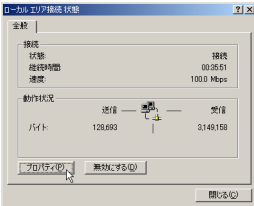


図 2.1-7

- (3) 「ローカルエリア接続のプロパティ」ダイアログボックスのリストの中から「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択し、「プロパティ」をクリックします。

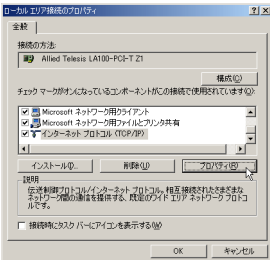


図 2.1-8

- (4) 「インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ」ダイアログボックスで「IP アドレスを自動的に取得する」と「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択し、「詳細設定」をクリックします。

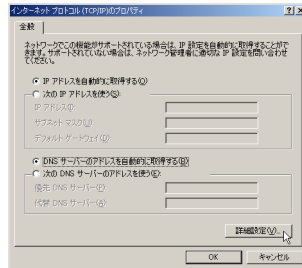


図 2.1-9

- (5) 「TCP/IP 詳細設定」ダイアログボックスで「DNS」タブを選択し、下部の「この接続アドレスを DNS に登録する」のチェックを外してください。

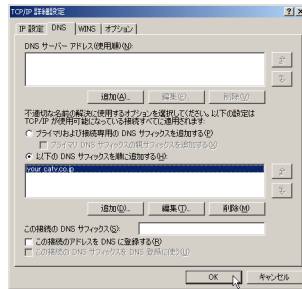



図 2.1-10

 **プロバイダーからドメイン名も指定されている場合**
「以下の DNS サフィックスを順に追加する」を選択し、「追加」ボタンを押して指定されたドメイン名を入力してください。

- (6) 「OK」をクリックしてダイアログボックスを閉じ、コンピュータを再起動してください。

■ Windows Me (98/95) の設定

- (1) 「コントロールパネル」の「ネットワーク」を開き、「現在のネットワークコンポーネント」リストの中から「TCP/IP → (ネットワークカード名)」を選択し、「プロパティ」をクリックします。

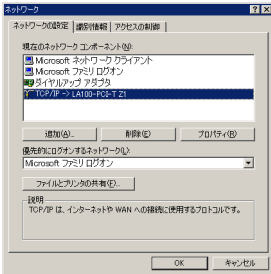


図 2.1-11

- (2) 「TCP/IP のプロパティ」ダイアログボックスで「IP アドレス」タブの「IP アドレスを自動的に取得」を選択し、「OK」をクリックします。

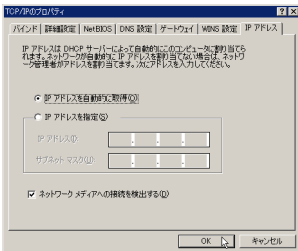


図 2.1-12



プロバイダーからドメイン名も指定されている場合

「TCP/IP」画面の「DNS 設定」タブをクリックし、「DNS を使う」を選択し、「ドメインサフィックスの検索順序」欄に指定されたドメイン名を入力して「追加」ボタンを押してください。

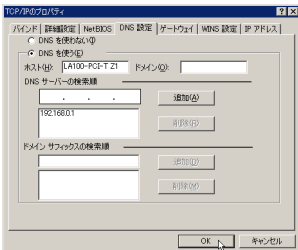


図 2.1-13 DNS 設定例

- (3) 「ネットワーク」ダイアログボックスで「OK」をクリックしてダイアログボックスを閉じ、コンピューターを再起動してください。

■ Windows NT 4.0 の設定

- (1) 「コントロールパネル」の「ネットワーク」を開き、「ネットワークプロトコル」リストの中から「TCP/IP プロトコル」を選択し、「プロパティ」をクリックします。



図 2.1-14

- (2) 「Microsoft TCP/IP のプロパティ」ダイアログボックスの「IP アドレス」タブで、「アダプタ」欄にお使いのネットワークカードが表示されているのを確認し、「DHCP サーバーから IP アドレスを取得する」を選択して、「OK」をクリックします。



図 2.1-15



プロバイダーからドメイン名も指定されている場合

「DNS 設定」タブをクリックし、「DNS を使う」を選択し、「ドメインサフィックスの検索順序」欄に指定されたドメイン名を入力して「追加」ボタンを押してください。

- (3) 「OK」をクリックしてダイアログボックスを閉じ、コンピューターを再起動してください。

2.2 Macintosh 編

■ Mac OS 9.x (8.x) の設定

■ Mac OS X の設定

- (1) 「システム環境設定」を起動して「ネットワーク」を選択し、「表示」ポップアップメニューから「動作中のネットワークポート」を選んでください。「内蔵 Ethernet」以外のチェックボックスを全て外します。



図 2.2-1



注意

Mac OS X の初期設定値では「モデムポート」または「内蔵モデム」を優先して使用するようになっていますが、本製品接続時には「内蔵 Ethernet」以外のポートは使用しません。

- (2) 「表示」ポップアップメニューから「内蔵 Ethernet」を選び、「TCP/IP」タグの「設定」ポップアップメニューから「DHCP サーバを参照」を選択してください。

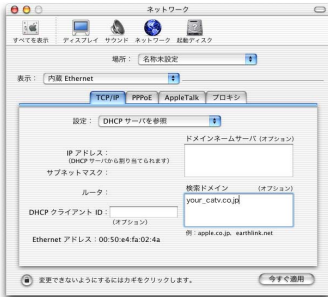


図 2.2-2



プロバイダーからドメイン名も指定されている場合「検索ドメイン」に指定されたドメイン名を入力し追加してください。

- (3) 「今すぐ適用」をクリックしてください。

- (1) 「コントロールパネル」の「TCP/IP」を開き、「経由先」から「内蔵 Ethernet」、「設定方法」から「DHCP サーバを参照」を選択してください。

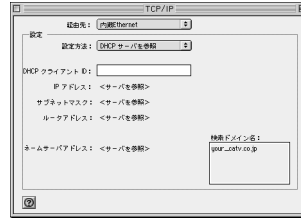


図 2.2-3



プロバイダーからドメイン名も指定されている場合「検索ドメイン」に指定されたドメイン名を入力し追加してください。

- (2) 「TCP/IP」ウィンドウを閉じて設定を保存してください。

3 機器の接続

3.1 設置する前に

■インターネット回線契約

本製品を設置するために必要なインターネット接続アカウント情報は、ご契約されているプロバイダーやサービスによって異なります。以下のような、接続するインターネット回線環境 (PPPoE 接続かどうかなど) の情報をあらかじめ用意しておいてください。

□ PPPoE (PPP over Ethernet) 接続の場合 (フレッツ・ADSL など)

ご利用のインターネットサービスが PPPoE 接続方式を採用している場合については、PPPoE 接続ソフトなどの説明書をあらかじめご用意ください。

□ PPPoE 以外の場合 (CATV や Yahoo!BB など)

• IP アドレス

インターネットサービスには、IP アドレスを自動的に配布する場合と、IP アドレスを自動的に割り当てる場合があります。ご利用のインターネットサービスが、どちらの方式を採用しているか確認してください。IP アドレスを固定割り当てするインターネットサービスの場合は、その IP アドレスを確認してください。

• サブネットマスク

IP アドレスを固定割り当てするインターネットサービスの場合は、サブネットマスクを確認してください。

• デフォルトゲートウェイ (デフォルトルータ)

IP アドレスを固定割り当てするインターネットサービスの場合は、デフォルトゲートウェイ (デフォルトルータ) を確認してください。

• DNS サーバアドレス

IP アドレスを固定割り当てするインターネットサービスの場合は、DNS サーバの IP アドレスを確認してください。DNS サーバが複数指定されている場合も、それぞれの IP アドレスを確認してください。

• ドメイン名

ご利用のインターネットサービスによっては、ドメイン名の設定も必要になる場合があります。

■プロバイダーへの申請

ご契約されているプロバイダーやインターネットサービスによっては、インターネットに接続できる機器を事前に申請する必要があります。その場合、ONU もしくはケーブル / ADSL モデムに直接接続するネットワーク機器 (本製品も含むコンピューターなど) の MAC アドレスをプロバイダーに対して事前申請してください。



注意

・MAC アドレスの事前申請が必要かどうかは、ご利用のインターネットサービスによって異なります。インターネットサービスプロバイダーに確認してください。

・MAC アドレスの事前申請が必要なインターネットサービスの場合、プロバイダーへの申請および登録が完了するまで本製品を利用したインターネットアクセスはできません。また、すでにお使いの機器 (コンピューター等) の MAC アドレスをプロバイダーに申請している場合、本機のMACアドレスの再申請が必要になります。



■MAC アドレスについて

イーサネット (Ethernet) に接続される機器は、MAC アドレスと呼ばれるアドレスを使って通信を行います。MAC アドレスは機器 (アダプター) のひとつひとつに割り当てられた唯一無二のユニーク (unique) なアドレスです。

MAC アドレスは、下記の6バイト (48ビット) によって構成されており、本製品の内部に書き込まれているため、ユーザーが変更することはできません。

本製品のMACアドレスは本体底面に記入されています (表記はすべて16進数)。

本製品に貼付されているのはWAN側のMACアドレスです。LAN側のMACアドレスについてはブラウザ設定画面のシステム情報で確認できます。

00 90 99 xx xx xx
ベンダー ID 通し番号

□ベンダー ID

LAN ベンダー (LAN 機器を製造しているメーカー) が IEEE に申請することにより得られる識別番号です。

□通し番号

この番号は、当社が製品を識別するために割り当てたものです。この通し番号と本製品の「シリアル番号シール」の番号に関連はありません。

■設置場所

本書冒頭の「安全のために」をよくお読みになり、正しい場所に設置してください。

□マグネットによる取り付け

付属のマグネットを使用して、本製品をOAデスクの横などの垂直な場所に設置できます。

マグネット取り付け位置の前側にあるツメとマグネットのツメの方向を合わせ、マグネットをツメの反対側から本体に差し込み、強く押し付けます。

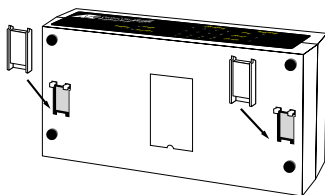


図 3.1-1



注意

設置面の状態によってはマグネットの十分な強度を得られないことがあります。



ケーブルの重みにより、機器が落下しないように確実に取り付けてください。
落下により、ケガの原因となることがあります。



マグネットで機器を高所に取り付けしないでください。
また、振動、衝撃の多い場所や不安定な場所に取り付け
ないでください。
機器の落下により、ケガの原因となることがあります。



マグネットで機器をOAデスクなどに取り付けたまま、
機器をずらさないでください。
被着面の塗装などに傷がつくおそれがあります。



マグネットにフロッピーディスクや磁気カードなどを
近づけないでください。磁気の影響により、記録内容
が消去されるおそれがあります。



マグネットをコンピューターやディスプレイなど磁気
の影響を受けやすい電子機器に近づけないでくださ
い。磁気の影響により、故障の原因となることがあり
ます。

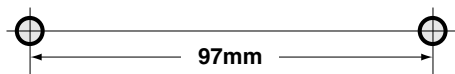
□壁面に取り付ける場合

付属のウォールマウント用タッピングスクリーを使用すると、
本製品を壁などの垂直な面に取り付けることができます。



- ・石膏ボードやベニヤなど、中空になっている壁に取り
付ける場合は、付属のプラスチックアンカーを併用し
てください。
- ・本体と UTP ケーブルを合わせ、最大 5kg 程度の垂直重
量が増加しますので、しっかりとした壁に取り付けて
ください。手で押しただけでへこんでしまうような壁
には取り付けしないでください。

- (1) 次の点を考慮し、設置場所と設置方向を決めてください。
 - ・電源ケーブルと UTP ケーブルの接続が可能であること
 - ・LED の表示が監視可能であること
- (2) タッピングスクリーを埋め込む位置を決めます。
このとき、タッピングスクリーの間隔が本体底面にある 2
つの取り付け穴の間隔と同じになるよう注意してください。



ネジの立たない壁への取り付けには、プラスチックアン
カーを使用します。プラスチックアンカーは、あら
かじめきりやドリルで開けておいた穴に差し込み、か
なづちで軽くたたいて壁に埋め込みます。

- (3) ネジ頭を 5mm ほど残して、タッピングスクリーを壁 (ま
たはプラスチックアンカー) にねじ込みます。
- (4) 壁から突き出ているネジ頭を本体底面の取り付け穴に差し
込むようにして、本体を壁に取り付けます。
ネジ頭がスロットにはまるまで本体をスライドさせ、しっか
り固定させてください。

■電源

必ず付属の AC アダプターを使用し、AC100V のコンセントに
接続してください。それ以外の AC アダプターやコンセントを使
用すると、発熱による発火や感電のおそれがあります。

なお、AC プラグ部が AC100V コンセントに接続するほかの機
器のじゃまになる場合は、付属の延長用電源ケーブルを接続して
お使いください。

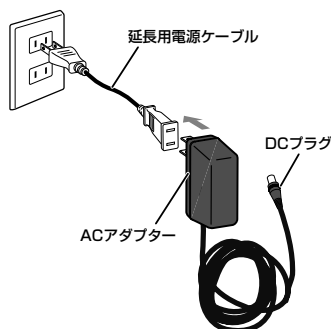


図 3.1-2

■起動と停止

AC アダプターの DC プラグを本体背面の DC ジャックに接続し、
AC プラグを電源コンセントに差し込むと起動します。AC アダ
プターの AC プラグを電源コンセントから抜くと停止します。



- ・本製品には電源スイッチがありません。AC プラグを
電源コンセントに接続した時点で、電源が入りますの
でご注意ください。
- ・AC アダプターの AC プラグを電源コンセントに差し
込んだまま DC プラグを抜かないでください。感電事
故を引き起こすおそれがあります。

3.2 推奨ケーブル

すべてのケーブルが機器間を接続するのに適切な長さであること
を確認します。本製品と端末を接続するケーブルの長さは 100m
以内にしてください。

また、ケーブルは 100BASE-TX の場合はカテゴリ 5 の UTP
ケーブル (ストレートタイプ)、10BASE-T の場合はカテゴリ
3 以上の UTP ケーブル (ストレートタイプ) を使用してください。

3.3 接続のしかた

本製品、ONU もしくはケーブル / ADSL モデム、スイッチ、コン
ピューターなどネットワーク接続する機器を UTP ケーブルで接
続してください。



- 本製品、ONU もしくはケーブル / ADSL モデム、スイッ
チ、コンピューターなどネットワーク接続する機器の
電源をすべて OFF にするか、電源コンセントから抜い
てください。

■コンピューターとの接続のしかた

(1) 本製品背面のLAN ポートに UTP ケーブルを接続します。

(2) ネットワークに接続するコンピューターに 10BASE-T/100BASE-TX ネットワークアダプターが正しく取り付けられていることを確認して、UTP ケーブルのもう一方をコンピューターのネットワークポートに接続します。



カスケード接続について

カスケードポート (ポート番号 4) を使用すると、ケーブルを変更することなく簡単にカスケード接続することができます。

■WAN への接続のしかた

(1) 本製品背面の WAN ポートに UTP ケーブルを接続します。

(2) 接続する ONU やケーブル/ADSL モデムのネットワークポート (RJ45) に UTP ケーブルのもう一方を接続します。



ONU やケーブル/ADSL モデムによって、使用する UTP ケーブルの種類 (ストレートケーブルまたはクロスケーブル) が異なります。

あらかじめご契約のプロバイダーにご確認ください。

■他のスイッチ、ハブとの接続のしかた

本製品と他のスイッチやハブを接続する場合には、カスケードポート (ポート番号 4) を使用することにより、ストレートケーブルによる接続が可能です。

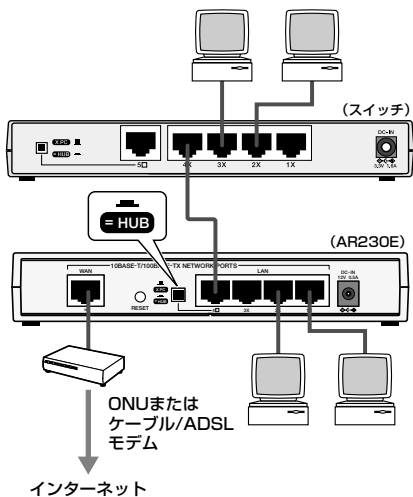


図 3.3-1

4 本製品の設定

Web ブラウザーによる簡単設定から、本製品を設定する方法を説明します。

本製品を設定するために必要なインターネット接続アカウント情報は、ご契約されているプロバイダーやサービスによって異なります。設定の前に、接続するインターネット回線環境の情報を留意しておいてください。



FTTH/ADSL/CATV によるプロバイダー (ISP) への接続方法には、大きく分けて次の 3 つがあります。

・WAN側 IP アドレス (自動取得) (DHCP)

DHCP 機能により IP アドレスが自動的に割り当てられます。

・WAN側 IP アドレス (固定設定)

プロバイダーにより IP アドレスが固定的に決められている場合に設定します。

・PPPoE

PPPoE 方式を使用しているプロバイダーの場合設定します。

「フレッツ・ADSL」や「B フレッツ」のお客様の場合

「フレッツ・ADSL」や「B フレッツ」にて本製品をご使用のお客様は、「PPPoE」にて設定を行ってください。

プロバイダーより固定 IP アドレスが提供されている場合も、接続には PPPoE が使用されます。

「WAN 側 IP アドレス (自動取得)」や「WAN 側 IP アドレス (固定設定)」で設定を行うと、通信が行えません。

PPPoE で複数のグローバル IP 固定割り当てサービス (Unnumbered) を利用する場合には、「取扱説明書・詳細編」の「11-5 PPPoE で「複数グローバル IP 固定割り当てサービス (Unnumbered)」を利用する」(30 ページ) をご覧ください。

(1) 本製品の専用 AC アダプターの DC プラグを本体背面の DC ジャックに接続し、AC プラグを電源コンセントに差し込みます。

(2) コンピューターを起動します。

「2 コンピューターの設定」(6 ページ) での設定が正常に行われている場合、本製品からお使いのコンピューターに IP アドレスが割り当てられます。

(3) Web ブラウザー (例: Internet Explorer 6.0) を起動し、アドレス入力欄に “http://goto.ar230e” または http://192.168.1.1” と入力して「移動」をクリックします。



図 4-1

- (4) 「ネットワークパスワードの入力」画面が表示されたら、ユーザー名の欄に「root」と入力し、「OK」をクリックします。

工場出荷時のパスワードは空欄です。



ここで使用するユーザー名「root」は、プロバイダーから提供されるものとは異なります。

注意

- (5) Web ブラウザーに本製品の設定画面が表示されたら、左側のメニューより「簡単設定」をクリックします。

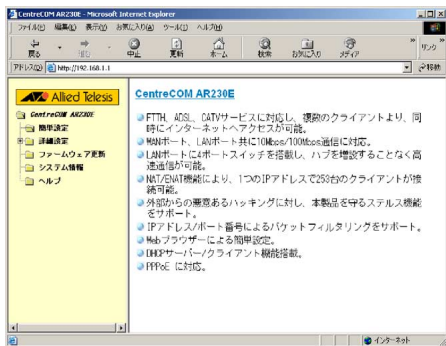


図 4-2



注意

Web ブラウザーの JavaScript 機能が無効になっていると左側のメニューが正常に表示されません。このような場合は、お使いの Web ブラウザーの設定を確認してください。(通常、初期設定では有効になっています)

詳しくは、取扱説明書(詳細編)の「付 A-5 JavaScript を有効にする」をご覧ください。

- (6) 右側に表示された「WAN 側 IP アドレス (自動取得)」、「WAN 側 IP アドレス (固定設定)」、「PPPoE」からプロバイダーとのご契約内容を確認し、該当するものを選択してください。

■ WAN 側 IP アドレス (自動取得) の設定項目

「フレッツ・ADSL」や「B フレッツ」などにて本製品をご使用のお客様は、「PPPoE」にて設定を行ってください。

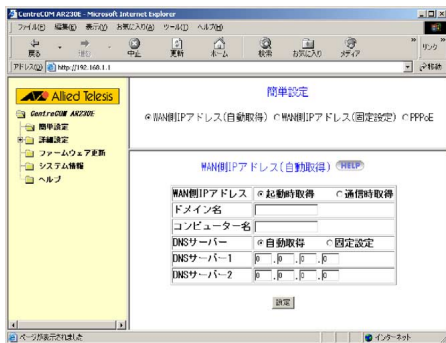


図 4-3

- WAN 側 IP アドレス
起動時取得か通信時取得かを選択します。工場出荷時は起動時取得となっています。
- ドメイン名
プロバイダーより指定されたドメイン名を入力します。
※プロバイダーから指定されていない場合は、入力不要です。
- コンピューター名
プロバイダーより指定されたコンピューター名を入力します。
※プロバイダーから指定されていない場合は、入力不要です。
- DNS サーバー、DNS サーバー 1、DNS サーバー 2
通常は自動取得を選択し、DNS サーバー 1, 2 は空欄とします。プロバイダーから DNS サーバーの IP アドレスを手動設定するよう指示された場合には、固定設定を選択し、DNS サーバー 1、2 に IP アドレスを入力してください (ひとつだけの場合は DNS サーバー 1 に入力)。

■ WAN 側 IP アドレス (固定設定) の設定項目

「フレッツ・ADSL」や「B フレッツ」などにて本製品をご使用のお客様は、「PPPoE」にて設定を行ってください。プロバイダーより固定 IP アドレスが提供されている場合も、接続には PPPoE が使用されます。「WAN 側 IP アドレス (固定設定)」で設定を行うと、通信が行えません。

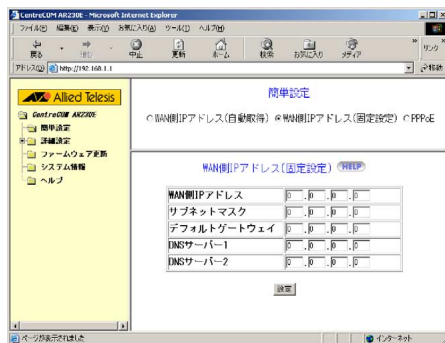


図 4-4

- WAN 側 IP アドレス
プロバイダーより指定された IP アドレスを入力します。
- サブネットマスク
プロバイダーより指定されたサブネットマスクを入力します。
- デフォルトゲートウェイ
プロバイダーより指定されたゲートウェイの IP アドレスを入力します。
- DNS サーバー 1、DNS サーバー 2
プロバイダーより指定された DNS サーバーの IP アドレスを入力 (ひとつだけの場合は DNS サーバー 1 に入力) します。

■ PPPoE の設定項目

「フレッツ・ADSL」や「B フレッツ」等にて本製品をご使用のお客様は「PPPoE」にて設定を行ってください。
プロバイダーより固定 IP アドレスが提供されている場合も、IP アドレスは自動的に設定されます。
WAN 側の IP アドレスを参照する方法については「取扱説明書・詳細編」の「12-9 システム情報の開示」37 ページをご覧ください。

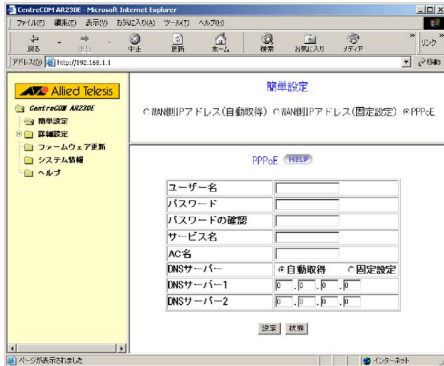


図 4-5

- ユーザー名
プロバイダーより指定されたユーザー名を入力します。
 - パスワード
プロバイダーより指定されたパスワード名を入力します。
 - パスワードの確認
パスワードと同じものを入力します。
 - サービス名
プロバイダーより指定されたサービス名を入力します。
※指定されていない場合は、入力しないでください。
 - AC 名
プロバイダーより指定された AC 名を入力します。
※プロバイダーから指定されていない場合は、入力不要です。
 - DNS サーバー、DNS サーバー 1、DNS サーバー 2
通常は自動取得を選択し、DNS サーバー 1、2 は空欄とします。
プロバイダーから DNS サーバーの IP アドレスを手動設定するよう指示された場合（IP アドレスが指定されている場合）には、固定設定を選択し、DNS サーバー 1、2 に IP アドレスを入力（ひとつだけの場合は DNS サーバー 1 に入力）します。
- (1) 情報の入力が終わったら、「設定」ボタンをクリックしてください。



その他の設定項目や画面の詳細については、「付録 A 製品仕様」の「Web ブラウザーによる設定項目一覧」15 ページを参照してください。

5 コンピューターの再起動

本製品の設定終了後、本製品に接続しているすべてのコンピューター（カスケード接続している HUB 又はスイッチに接続しているコンピューターを含む）を再起動します。

6 接続の確認

ケーブルの接続及びコンピューターの起動の終了後、インターネットに接続して設定を確認してください。

- (1) コンピューターの画面で Web ブラウザーを起動し、目的の URL を指定します。
例 <http://www.allied-teleasis.co.jp/> を指定した場合
- (2) 目的のホームページが表示されたら完了です。



図 6-1

付録

A 製品仕様

サポート規格	
	IEEE802.3 10BASE-T IEEE802.3u 100BASE-TX IEEE802.3x Flow Control
機能	
	IP(RFC791)、TCP(RFC793)、UDP(RFC768)、 ICMP(RFC792)、TFTP(RFC783)、 HTTP(RFC1945)、DHCP(RFC1541)、 PPP(RFC1661)、PPPoE(RFC2516)、 NTP(RFC1305)
スイッチング方式	
	スタア&フォワード
電源部	
定格入力電圧	AC100V
入力電圧範囲	AC90-110V
定格周波数	50/60Hz
最大入力電流	0.09A
平均消費電力	5.1W (最大5.6W、ACアダプター含む)
平均発熱量	4.4kcal/h (最大4.9kcal/h、ACアダプター含む)

環境条件	
保管時温度	-20～60℃
保管時湿度	95%以下(ただし、結露なきこと)
動作時温度	0～40℃
動作時湿度	80%以下(ただし、結露なきこと)
外形寸法 (突起部含まず)	
	177(W)×103(D)×32(H) (単位mm、突起物含まず)
重量	
	290g(ACアダプター含まず)
MACアドレスエントリー数	
	1K (最大)
MACアドレス保持時間	
	約300秒
メモリー容量	
メインメモリー	8MByte
フラッシュメモリー	1MByte
適合規格	
EMI規格	VCCIクラスB
安全規格	UL60950
JATE	DO1-0963JP L01-0329

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

■ Web ブラウザーによる設定項目一覧

本製品のファームウェア設定項目は、「簡単設定」と「詳細設定」に分かれています。設定項目の概要は以下のとおりです。

メニュー		機能概要	
簡単設定	WAN 側 IP アドレス (自動取得)	IP 設定が自動取得 (DHCP) の場合に選択 (出荷時設定)	
	WAN 側 IP アドレス (固定設定)	IP 設定を固定とする場合に選択	
	PPPoE	PPPoE で接続する場合に選択	
詳細設定	システム設定		
	LAN 側の設定		
	WAN 側の設定	WAN 側 IP アドレス (自動取得)	IP 設定が自動取得 (DHCP) の場合に選択
		WAN 側 IP アドレス (固定設定)	IP 設定を固定とする場合に選択
		PPPoE	PPPoE で接続する場合に選択
		PPPoE(2 セッション)	PPPoE で 2ヶ所同時に接続する場合に選択
	DMZ 設定	指定したコンピューターを WAN 側からアクセス可能にする	
	バーチャルサーバー設定	指定したコンピューターを WAN 側からアクセス可能にする (TCP/UDP ポート指定)	
	ログ管理設定	E-Mail の設定	ログ情報のメール送信設定
		Syslog の設定	SysLog の設定
		NTP の設定	Network Time Protocol 機能の設定
		ログの表示	本製品のログを表示
	ファイアウォール設定	パケットフィルタリング	パケットフィルタリングの設定
ステートフルインスペクション		ステートフルインスペクションの設定	
MS ネットワークフィルタリング		Windows ネットワークを有効にする場合に設定	
DHCP 設定	固定 IP アドレステーブル	LAN 側に特定の IP を割り当てる場合に設定	
	除外 IP アドレステーブル	LAN 側から特定の IP を除外する場合に設定	
	BOOTP IP アドレステーブル	LAN 側の IP の割り当てに BOOTP を用いる場合に設定	
スタティックルーティングテーブル	内部ルーティングテーブルにスタティックルーティング情報を追加		
ファームウェア更新	本製品のファームウェアを更新する場合に選択		
システム情報	本製品のシステム情報を表示		
ヘルプ	各設定項目ごとに説明を表示		

■工場出荷時の設定内容

本製品の工場出荷時の設定内容は以下のとおりです。

設定内容		初期設定			
簡単設定	WAN 側 IP アドレス (自動取得)	IP アドレス	起動時取得		
		DNS サーバー	自動取得		
詳細設定	システム設定		管理者ログイン名	root	
			管理者パスワード	なし	
			ステルスモード	無効	
			リセットスイッチをリブートのみに限定	無効	
	LAN 側の設定		LAN 側 IP アドレス	192.168.1.1	
			サブネットマスク	255.255.255.0	
	WAN 側の設定	WAN 側 IP アドレス (自動取得)	WAN 側 IP アドレス	起動時設定	
			MTU 値	1500 バイト	
			MSS 値	40 バイト	
			NAT 機能	有効	
		PPPoE	DNS サーバー	自動取得	
			無通信切断タイマー	10 分	
			MTU 値	自動調整	
			MSS 値	40 バイトに固定	
		PPPoE タイプ	端末型		
		DNS サーバー	自動取得		
		DMZ 設定		DMZ の設定	無効
		バーチャルサーバー設定		バーチャルサーバー機能	無効
	ログ管理設定	E-Mail の設定	E-Mail の設定	無効	
			すぐにアラートを送信する	無効	
ログメール送信スケジュール			ログがフルであるとき		
Syslog の設定		Syslog の設定	無効		
		Syslog サーバアドレス	0.0.0.0		
NTP の設定		NTP 機能	無効		
	タイムゾーン	(GMT+09:00)Tokyo, Osaka, Sapporo, Seoul, Yakutsu			
ファイアウォール設定		パケットフィルタリング機能	無効		
		ステートフルインスペクション機能	無効		
		MS ネットワークフィルタリング設定	有効		
DHCP 設定		DHCP 機能	有効		
		リース期限継続方法	無期限		
		リース期限	0日 0時間 0分		
		開始アドレス	192.168.1.11		
		終了アドレス	192.168.1.254		

B 付属 CD-ROM の使いかた

以下の場合、付属 CD-ROM を使って対応するメニューを選択し、次の手順に従って必要なデータをインストールしてください。

目的	選択するメニュー
本製品の「取扱説明書・簡単編」(本書)をコンピュータの画面で読みたい	「取扱説明書・簡単編」をクリックしてください。 「取扱説明書・簡単編 (PDF 形式ファイル)」が開きます。
本製品の「取扱説明書・詳細編」を読みたい	「取扱説明書・詳細編」をクリックしてください。 「取扱説明書・詳細編 (PDF 形式ファイル)」が開きます。
PDF 形式ファイルを開くソフトウェアがない	「Acrobat Reader for Windows」または「Acrobat Reader for Macintosh」をクリックしてください。 「Adobe Acrobat Reader」がインストールされます。

「取扱説明書・詳細編」は、付属 CD-ROM にのみ収録されています。PDF 形式のファイルを読んだり、印刷したりするには「Acrobat Reader」などの PDF ファイル閲覧ソフトウェアが必要です。「Acrobat Reader」がインストールされていない場合は、付属 CD-ROM よりインストールしてお使いください。

- (1) 付属 CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしてください。

Windows の場合 : Web ブラウザーが起動し、メイン画面が表示されます。

Macintosh の場合 : CD-ROM のアイコンを開いて、「index」または「index.html」アイコンをダブルクリックしてください。

メイン画面が表示されます。



図 B-1

- (2) 目的のメニューをクリックします。

画面の指示に従って、インストールを完了してください。



メイン画面のウィンドウが開かず、注意書きのみのウィンドウのみが表示されている場合、お使いの Web ブラウザーの JavaScript 機能が無効になっている可能性があります。本製品の設定画面は JavaScript を使用しているため、JavaScript 機能が無効の状態では、本製品の設定を行うことができません。Web ブラウザーの設定を確認し、JavaScript を有効にしてください。

C 保証

本製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」をお読みになり、「お客様インフォメーション登録カード」に必要な事項を記入して、当社「お客様インフォメーション登録係」までご返送ください。「お客様インフォメーション登録カード」が返送されていない場合、障害発生時のユーザーサポートや修理などを受けられません。

■保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じた、いかなる損害(人の生命・身体に対する被害、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない)については、弊社はその責をいっさい負わないこととします。

D ユーザーサポート



本製品には、CentreCOM AR230E (アライドテレシス株式会社より販売)と、WebCaster AR230 (NTT より販売)の 2 種類があります。ユーザーサポートの連絡先は、それぞれ異なりますのでご注意ください。

* Web Caster AR230 には製品前面に NTT ロゴシールが貼付されています。

● Web Caster AR230 をお使いのお客様

NTT サザンクロスお取扱い相談センタまで直接お問い合わせください。

NTT サザンクロスお取扱い相談センタ

Tel: ☎ ☎ 0120-737-470

● CentreCOM AR230E をお使いのお客様

障害回避などのユーザーサポートは、この取扱説明書の巻末の調査依頼書をコピーしたものに必要事項を記入し、下記のサポート先に FAX してください。記入内容の詳細は、『調査依頼書のご記入にあたって』をご覧ください。

アライドテレシス株式会社 サポートセンター

Tel: ☎ ☎ 0120-860-772

月～金(祝・祭日を除く) 9:00～12:00 13:00～18:00

Fax: ☎ ☎ 0120-860-662

年中無休 24 時間受付

D.1 調査依頼書のご記入にあたって

本依頼書は、お客様の環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。ご提供いただく情報が不十分な場合には、障害の原因究明に時間がかかり、最悪の場合には障害の解消ができない場合もあります。迅速に障害の解消を行うためにも、弊社担当者が障害の発生した環境を理解できるように、以下の点にそってご記入ください。記入用紙で書き切れない場合には、プリントアウトなどを別途添付してください。なお、都合によりご連絡が遅れる事もございますが、あらかじめご了承ください。

1 ご使用製品のシリアル番号、製品リビジョン

製品名、製品のシリアル番号 (S/N)、製品リビジョンコード (Rev) を調査依頼書に記入してください。製品のシリアル番号、製品リビジョンコードは、製品底面のバーコードシールに記入されています。



2 システム情報について

Web ブラウザーを起動して「4 本製品の設定」の手順に従い、本製品の設定ページを表示して下さい。表示された画面の内容を調査依頼書の所定の欄に記入して下さい。画面のプリントアウトを添付していただいても結構です。

3 プロバイダーについて

ご契約のインターネットサービスプロバイダー (ISP) 名またはケーブルテレビ (CATV) 名を記入してください。

4 お問い合わせ内容について

- どのような症状が発生するのか、それはどのような状況でまたどのような頻度で発生するのかをできる限り具体的に (再現できるように) 記入してください。
- エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージの内容のプリントアウトなどを添付してください。

5 ネットワーク構成について

- ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。
- 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

D.2 最新ファームウェアの入手方法

弊社は、改良のために予告なく、本製品のファームウェアのバージョンアップを行うことがあります。最新のファームウェアは、弊社のホームページから入手することができます。

Microsoft Internet Explorer、Netscape Navigator などの Web ブラウザーを使用して、次のアドレスにアクセスしてください。

<http://www.allied-tesis.co.jp/>

「サポート」のページに進んで、ダウンロード情報を確認してください。

E おことわり

- 本書は、アライドテレシス株式会社が作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
- 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
- 本装置の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

Copyright ©2002 アライドテレシス株式会社

F 商標

CentreCOM はアライドテレシス株式会社の登録商標です。Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Macintosh は、米国アップルコンピュータ社の商標です。「フレツ」は東日本電信電話株式会社および西日本電信電話株式会社の登録商標です。その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

G マニュアルバージョン

2001年 10月 Rev.A 初版

2002年 5月 Rev.B 仕様変更(ファームウェア v.2.0.0以降)

2002年 7月 Rev.C 仕様変更(ファームウェア v.2.1.0以降)

調査依頼書 (CentreCOM AR230E 1/2)

年 月 日

一般事項

1. 会社名 (個人名) :

部署名 :

ご担当者 :

ご連絡先住所 : 〒

TEL : ()

FAX : ()

2. 購入先 :

購入年月日 :

購入先担当者 :

購入先 TEL : ()

ハードウェアとソフトウェア

1. ご使用ハードウェア機種のシリアル番号、製品リビジョン、ファームウェアバージョン



CentreCOM AR230E

S/N _____ Rev _____

ファームウェアバージョン Ver. _____

2. システム情報

ハードウェアバージョン	_____
ファームウェアバージョン	_____
システム稼働時間	____日 ____時間 ____分 ____秒
SYSTEMの設定	ステルスモード : _____ リセットスイッチをリポートのみに限定 : _____
LAN側の設定	MACアドレス : _____ IPアドレス : _____ サブネットマスク : _____ DHCP機能 : _____ 開始アドレス : _____ 終了アドレス : _____
WAN側の設定	MACアドレス : _____ WAN 1 : _____ IPアドレス : _____ サブネットマスク : _____ ゲートウェイ : _____ DNSサーバー1 : _____ DNSサーバー2 : _____ WAN 2 : _____ IPアドレス : _____ サブネットマスク : _____ ゲートウェイ : _____ DNSサーバー1 : _____ DNSサーバー2 : _____

3. ご契約のインターネットサービスプロバイダ (ISP) 名またはケーブルテレビ (CATV) 名

(例 : フレッツ・ADSL + OCN…回線サービス業者名とサービスプロバイダ名を明記してください)

調査依頼書（CentreCOM AR230E 2/2）

お問い合わせ内容

設置中に起こっている障害

設置後運用中に起こっている障害

ネットワーク構成図

簡単なもので結構ですからご記入をお願いします。